

平成30年度 春日部市立東中学校 第1学期始業式 式辞

新しい年度が始まります。平成30年度です。東中学校は57回目の春を迎えます。

はじめに、今日の式辞の枕です。

3月の修了式で「時間はつながっている」というお話をしました。

あれから2週間後の今日、ひとつ学年が上がりました。誕生日を迎えたのと同じことです。ひとつ年をとりました。昨年よりも1歳上になったのです。何が違うのでしょうか。どんな成長をしたらいいのでしょうか。ぜひ、それらを考えて今日を迎えてください。

3年生は最高学年、2年生は中堅学年と呼ばれるからには、昨年とどんなことを変えればいいのでしょうか。どんな行動、どんな発言をすればいいのでしょうか。行動も発言も変化があってしかるべきです。それを今日から変えていきましょう。「あいつ変わったような」「すごいな」と思ってもらえるような行動と発言をしましょう。お願いします。名前だけで中味の変わらないのでは、「成長」ではありません。

それでは、平成30年度のスタートにあたって、始業式の式辞として、2年生・3年生の皆さんに大きく2つお話しします。

1つ目は、今年度1年間、皆さんに意識してほしい内容です。

2つ目は、4月という月はどんな月なのか、というお話です。

1つ目のお話です。皆さんに今年度1年間意識してほしいことです。

57年目ということで、今年度の最初に次言葉を覚えてください。

「スマート東中57」「スマート東中57」

「スマート」という言葉は、現代社会にしっかりと馴染んできた言葉です。

スマートフォン、スマートインターチェンジ、スマートシティ、スマートセンサーなどなど、姿や形、格好、動作、行動が気が利いていて、かっこいいことを指す言葉です。

そこで、そんな格好いい東中の姿や姿勢を示す、スマートな姿を地域社会に示せたらいいな、学校の責任が果たせるのではないかと考え、今年度のコンセプトとしての合言葉・キャッチフレーズを、「**スマート東中57**」としました。

スマートな東中生徒、スマートな東中とは、具体的には次のようなことをイメージしています。

(1) 「あいさつ」と「笑顔」を大切にすることを昨年同様続けます。(スマイル)

(2) そして、「自信」を「信頼」へと高めていくことです。(コンフィデンス)

(3) それが、地域社会への「責任」ある姿を示すことです。(リスポンシビリティ)

では、「スマート東中57」を意識しながら、今年度学校生活を送ってください。みなさんがスマートになることを願います。

次に大きな2つ目のお話しします。4月がどんな月かということです。

4月は新しい年度の始まる月です。

新しくなることが多くあります。ですから、次のようなイメージを持ってください。

四月は「希望」の月です。

希望を語る月です。夢を抱く月です。志を確かめる月です。志を確認しましょう。
希望や夢や志は、やがて、目的になり、目標になります。
そうして、それは課題となって、いつか必ず現実になります。実現します。
ただし、目標は、計画や準備があつて、はじめて「目標」となります。
ただこうしたいと思うことは目標ではありません。
ただ思うだけでは「願い事」でしかありません。
こうしたい、こうなりたいと思うことは大切ですが、それだけでは目標にはなりません。
夢や希望や志を「願い事」ではなく、目的や目標にするために、計画を立てて準備を始め
ましょう。それが、四月です。

どちらも、今日配付の『学校だより』4月号に掲載しましたので、ぜひ、読んでください。
そして、今年東中が進んでいく指針として、意識して行ってください。

まとめをします。3つでまとめます。

- 1 時間はつながっています。呼ばれ方が変わります。ひとつ成長した変化、行動と発言
の変化を見せましょう。
- 2 「スマート東中57」です。あいさつ・笑顔・自信から信頼、そして責任へ。
- 3 四月は「希望の月」です。目標をもつことは、同時にその目標に向けた計画を作ること
です。計画のない夢や希望は、実現していくことのない、ただの「願い事」です。願い事
ではなく、「希望」を目標として、具体的に自分は何をするのかを決める四月にしましょう。

平成30年度、皆さんとともに、素晴らしい1年間にしたいと思っています。

以上を式辞といたします。

平成30年4月9日

春日部市立東中学校 校長 船田年男